

Vol.158 2015 4月

社長の  
ひとりごと  
【住宅】

東大生が最も読んでいる本  
『里山資本主義』角川書店

アサヒグローバル株式会社 代表取締役  
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役  
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役 Yoshimichi Kubokawa



全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!  
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

ホームページ  
agg-hd.co.jp

asahiglobal.co.jp  
lglobal-mie.co.jp  
super-chintai.com  
goldtrust.co.jp  
goldage.co.jp  
kubokawayoshimichi.com

くぼかわよしみち.com

検索

この木造ビルの工法はオーストリアの小  
さな村で生まれて、ヨーロッパ全土に広ま  
りました。(私も今年中にはモデルホーム  
を日本に建設する予定です。)そして残っ  
た木屑で燃料の『ペレット』を作って、家庭や  
会社の暖房や台所に使うのと、『バイオマス  
発電』で電気も100%を目指して自給

私はこの3年程ヨーロッパの木造建設の  
勉強に毎年ドイツやイタリアやオーストリ  
アを回っていますが、特に『オーストリアの  
奇跡』と言われる『木質バイオマスエネ  
ギー革命』には感動です。50年間放置され  
た山を『森林マスター』の資格を持つ人が  
計画的に伐採して、『集成材』(CLT:ク  
ロスラミネートティンバー)に加工して、9  
階建てや13階建ての『木造ビル』のマンシ  
ョンやオフィスビルを建設しています。

私の会社では今年400棟の木造  
住宅(40坪)を受注します。それ以外でも  
高齢者住宅の大規模木造(300坪×  
800坪)を今20棟以上受注しています  
ので着工しますし、コンクリートマンシ  
ョン以外にも木造のメゾネット型のアパートも  
建設していますね。一言で言ったら私は『木』  
が大好きですし、『木』をたくさん使ってい  
ますし、『木』のおかげで会社が経営され  
ていて、850人(15年3月現在)の社員  
さん達の幸せな生活が成り立っているの  
です。

せんにから資源が永久に無くなりません。  
山資本主義』です。  
そして木材の成長した分しか伐採しま  
せんから資源が永久に無くなりません。

バイオマスエネルギーで年間3万人もの  
視察が殺到している、オーストリアの  
『ギュッシンク市』(人口4,000人の町)  
は最貧の町から世界最先端のお金持ちの  
町に変貌しています。燃料は買わなくて  
いいし、食料は自給、水も自給でもこれ  
で石油価格による物価の変動や、為替の変  
動や、国家の借金やインフレのない『資本  
主義』を林業を中心とした木材資源で全  
て完結させているのがオーストリアの『里  
山資本主義』です。

しているのです。オーストリアの再生可能エ  
ネルギーは現在28%(日本は10%)です  
が、100%でも可能だそうですね。  
そして国民が全て豊かに生活してい  
るのです。日本は一人当り(購買力平価)  
GDPでは28位。オーストリアは11位です  
から、日本よりずっとお金持ちだとい  
うことです。『里山資本主義』とは、人間が生  
きるのに必要なものは『水と食料と燃料』  
で『お金』はそれを手に入れるための手段  
の1つでしかないという考え方ですね。そ  
の中の『燃料』を石油や石炭や原子力に頼  
らずに、今まで放置されていた『山の木』を  
使いたしようという世界最先端の経済原  
理です。それは資本主義の新しい形なの  
ですね。

具体的には私の会社は『材木屋さん』にな  
りたいし、『CLT(集成材)』の製造工場  
もしたい。『プレカット(木材の加工)』と『フ  
レームアップ(上棟)』もやりたいと計画し  
ています。そして『ペレット(燃料チップ)』を  
作って地域に貢献したいものです。『森林』  
もいくつか買いたいですね。放置されてい  
る山は値段が安いので簡単に購入でき  
ます。しかし工場や機械が50億円以上し  
ますから、誰かお金のある人は私にご協  
力願います。全力で『里山資本主義』を実  
践いたしましょう。

具体的には私の会社は『材木屋さん』にな  
りたいし、『CLT(集成材)』の製造工場  
もしたい。『プレカット(木材の加工)』と『フ  
レームアップ(上棟)』もやりたいと計画し  
ています。そして『ペレット(燃料チップ)』を  
作って地域に貢献したいものです。『森林』  
もいくつか買いたいですね。放置されてい  
る山は値段が安いので簡単に購入でき  
ます。しかし工場や機械が50億円以上し  
ますから、誰かお金のある人は私にご協  
力願います。全力で『里山資本主義』を実  
践いたしましょう。

まあ『元金』に手をつけずに『金利』だけで  
生活しているのがギュッシンク市の市民とい  
うことでしょうか。世界中から見学に来て  
いることが良く理解できますね。私もこの  
6月に1週間程オーストリアに滞在する予  
定です。そして十分に視察して研究したい  
と思います。  
やはり日本にぴったりのシステムですね。  
日本全土の7割は森林です。そして外材  
ばかり輸入していて国内の『木』は放置さ  
れたままで誰も利用できずに(外材の方  
が安いので)ほったらかしの状態ですから、  
このオーストリアのビジネスモデルを2日も  
早く日本で実現しないといけません。私も  
私の会社も『木』で生かされているので  
から早く全力でやるべきだと計画してい  
ます。

わくわく

夢

ニュース【住宅】

2015

4月

No.158

アクセントタイルで貼り分けた、  
飽きのこないデザイン

カーポート併設で玄関までのアクセスが雨天でもラクラク  
随所にごたわりを取り入れたN様邸は、  
大容量太陽光でローン返済もラクラクな住まいです。

